

宇治市議会だより



「宇治市消防出初式の様子」

第136号
平成27年3月1日
(2015年)

発行 宇治市議会
〒611-8501
京都府宇治市宇治琵琶33番地
電話 20-8747(直)
編集 広報委員会
<http://www.city.iji.kyoto.jp/gikai/>

12月定例会

いじめ調査関連2条例・風致地区条例等を全会一致で可決

◆政務活動費の使途――100条調査実施を決議

100

もくじ

- 2~6面 一般質問の項目一覧
一般質問
3月定例会の日程
決算特別委員会審査報告
委員会の審査報告
可決された決議・意見書
議会だより第135号の
訂正とお詫び
議決結果
議事内容(抜粋)
議会豆知識
- 7面 〔佐賀県武雄市〕
○指定管理者制度への民間活力の導入について
〔大分県豊後高田市〕
○昭和の町の取り組みについて
- 8面 〔佐賀県鳥栖市〕
○まちづくりビジョンについて

平成26年12月定例会は、12月3日から12月25日までの23日間の会期で開かれました。

今定例会では、市から提出された「平成25年度宇治市一般会計歳入歳出決算認定」を始めとする53議案が可決(認定・承認・同意)されました。また、「聴覚障害者の参政権の保障を求める意見書(案)に関する請願」や「年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全な運用に関する意見書」、「政務活動費によりコピー用紙を大量に購入したとの調査に関する決議」など1請願1決議2意見書が可決されました。(8面に議決結果を掲載)

市政に関する一般質問は、12月16日、17日、18日の3日間にわたり、15人の議員が行いました。(2~6面に掲載)

自治功労者の推薦を承認

議会は、次の11名の自治功労者の推薦を承認しました。

- 宇治市農業委員会委員
辻植文好四郎
- 宇治市教育委員会委員
久富明宏
- 前宇治市農業委員会委員
吉田西森壽男
- 前民生委員・児童委員
橋本大嶋洪道
- 前宇治市公平委員会委員
村田敏行
- 前宇治市公公委員会委員
西岡弘佳
- 前宇治市公公委員会委員
浅見健一
- 前宇治市公公委員会委員
大河直幸
- 宇治市中学校給食の実現をもとめる請願
(請願者)
大河直幸
- 賛成少数で不採択
(請願者)
大河直幸
- 賛成少数で不採択
(請願者)
大河直幸

総務大臣から感謝状が贈呈される

永年にわたり地方自治の進展に寄与した功績により、総務大臣から、次の議員に感謝状が贈呈されました。12月定例会において、伝達が行われました。

議員在職35年以上 浅見健一議員

議員在職35年以上
浅見健一議員

提出された請願

今定例会に提出された請願3件を所管の常任委員会で審査し、本会議最終日に次のとおり決定しました。

- ① 指定管理者制度への民間活力の導入について
〔大分県豊後高田市〕
- ② 議決すべき事件について
〔佐賀県鳥栖市〕
- ③ まちづくりビジョンについて
〔佐賀県武雄市〕

行政視察の報告

先進地への行政視察を次のとおり実施しました。

- 11月17日、18日
〔東京都小金井市〕
○議会運営委員会
①ライブ中継について
②議決すべき事件について
- 〔東京都町田市〕
○ライバー中継について
- 〔東京都町田市〕
○議決すべき事件について

▼聴覚障害者の参政権の保障を求める意見書(案)に関する請願 (請願者) 宇治市難聴者協会 会長 西村篤子

保障を求める意見書(案)に関する請願(請願者)
宇治市難聴者協会
会長 西村篤子

一般質問

平成26年12月定例会の一般質問は12月16日、17日、18日の3日間にわたりて行われ、15人の議員が質問を繰り広げました。紙面の都合により、その一部をお知らせします。



宇治市議会	検索
-------	----

定例会一般質問の様子をインターネットで配信中

生中継・録画中継や会議録は、市議会ホームページの「議会中継」、「会議録検索システム」でご覧になります。

一般質問の項目一覧	
西川 博司 (民主)	通対策 ④近鉄小倉駅地下道のバリアフリー化とまちづくり ①スマートフォン対応型広報誌活用
秋月 新治 (無会派)	②水素で走る燃料電池車 ③二子山古墳塚付近の住宅開発
宮本 繁夫 (共産)	⑤過労死防止対策 ④地域課題 ①市長の政治姿勢
木村 正孝 (社会)	②上下水道部の事業方針 ③ごみの収集
浅見 健一 (社会)	①青少年センター ②青少年育成支援
坂本 優子 (共産)	③医療費助成 ②近鉄小倉駅周辺の再整備 ①子育て新制度
片岡 英治 (無会派)	③上下水道部の事業方針 ②観光振興計画及び事業方針
渡辺 俊三 (共産)	①観光振興の課題 ②黄檗学園部活事故との後の対策
長野 恵津子 (公明)	③二子山開発 ②二子山開発 ①子育て支援
坂下 弘親 (自民)	④地域課題 ⑤安全・安心
石田 正博 (民主)	①将来に向けた人口減少 ②防災まちづくり ③農業
浅井 厚徳 (無会派)	①市長の基本姿勢 ②安心な地域づくり ③投票率の向上 ④地域課題
坂下 弘親 (自民)	①行政改革 ②農業振興地域の整備 ③保護司会に対する市の支援
石田 正博 (民主)	①将来に向けた人口減少 ②少子化対策 ③農業
渡辺 俊三 (共産)	①公契約条例の制定 ②バリアフリー新法と歩道整備

みなし寡婦控除 現在の検討状況は

答弁～実施に向け検討している

公明党議員団
長野 恵津子



問 税法上の寡婦控除は非婚の家庭の場合は適用されないため、非婚か離婚か等の違いにより、所得を根拠に算定する保育料や市営住宅の使用料、

健康福祉部長 本来、国において所得税法や地方税法の改正により対応すべきと考えるが、6月定期例会で請願が採択されたことでも勘案しながら、実施に向け検討し

問 宇治伊勢田線の早期整備を

答弁～慎重に検討する必要がある

宇治伊勢田線が供用開始され、付近の府道は、一定渋滞緩和が図られ評価している。その一方、年々、交通量が増えており、天神台、南陵町地域の住民からは不安の声も聞かれる。宇治伊勢田線を早期に整備することが、

建設部長 沿線の土地利用の状況調査等を行い、最も経済的で住宅地等への影響の少ない、実現可能な計画線の見直しを行うため、今年度に道路整備設計を行った。今後は、当該路線の都市計画決定の変更を前提に、沿線の自治会等への計画線の見直しの経緯と新たな計画の考え方についての説明会を予定している。しかし、当該路線の整備には多大な事業費が必要となることから、慎重に検討する必要がある。

外郭団体、公社幹部職員の公募制度は

答弁～団体において決定されるものである

無会派
金ヶ崎 秀明



大事だ。公募制度について市の考えは、政策経営部長 それぞれの団体において、実情に応じた手法を検討し、決定されるもので、市が関与すべきではない。

総務部長 平成25年度で設計完了したが、建物整備費が国の平成26年度当初予算に計上されず、整備時期は未定である。

京都医療少年院移転後の跡地利用は

答弁～今後の方向性の調査、検討を行っている

政策経営部長 今后の方針において、実情に応じた手法を検討し、決定されるもので、市が関与すべきではない。

政策経営部長 以前、京都医療少年院移転後の跡地を公共施設として活用するよう検討すべきと答弁していた。現在の検討状況は。

政策経営部長 それぞれの団体において、実情に応じた手法を検討し、決定されるもので、市が関与すべきではない。

市民環境部担当部長 水タンク設置補助を含め制度を導入しては。家庭用雨水タンク設置助成制度を導入しては。家庭で雨水を利用できるようにするため、家庭用雨水タンク設置助成制度を導入しては。

家庭用雨水タンク設置助成制度を導入しては

答弁～環境に優しい新たな施策を検討する

市民環境部担当部長 雨水の有効活用にはなるが、貯水槽内が空になつた時の周囲の土庄などに考慮を考える。

問 不要となつた浄化槽の再利用や、家を建てる時に駐車場の下に雨水貯留施設を設置する事に対する補助制度など、市の

特定健康診査の受診費用無料化を

答弁～自己負担額のある方も検討していきたい

市民環境部担当部長 病気の早期発見、早期治療をアップさせることは、

東笠取の農業振興地域指定を解除しては

答弁～地域の意向も踏まえ今後の方向性を鋭意協議する

市民環境部担当部長 昭和49年策定の農業振興地域整備計画で東笠取地域はシイタケ栽培が進められたが、それ以外の計画は手つかずだ。山

保護司確保のため支援できなのか

答弁～保護司候補者検討協議会に参画し、確保に努めている

市民環境部長 平成19年

問 同地域の耕作放棄地は70%になつていて、この地域をいつまでも農業政策を集中させるほうがよ

問 同地域の耕作放棄地は70%になつていて、この地域をいつまでも農業政策を集中させるほうがよい効果が上がるのでは。

公明党議員団 関谷智子



浅井厚徳

療育手帳BにAと同じよう医療費助成を

答弁～府と連携をしながら研究を進めたい

健康福祉部担当部長 健康独自のセーフティーネットの役割を果たしているとして、検討を進めおり、その動向を注視し、医療費等の分析などを引き続き研究していく。

問 9月議会で療育手帳Bを持つていて、Aの人と同じように医療費助成をしてほしいという請願が全会一致で採択された。市はどう受けとめた

人が日常生活に負担の大きい障害者に対する医療の重要度を考えなければならぬとし、府は見直しの方向性を出してい

バリアフリー化のため近鉄小倉駅を橋上化しては

答弁～提案の内容も含め、十分検討していきたい

健康福祉部担当部長 分理解している。市としてもさまざまな意見に耳を傾け、府と連携しながら研究を進めたい。

問 障害等級上重度ではないが日常生活に負担の大きい障害者に対する医療の重要度を考えなければならないとし、府は見直しの方向性を出してい

都市整備部長 市が府に要望している連続立体化は、事業規模が大きく、事業主体が府であるなどハーフドルが高い。事業規模も小さく、市が事業主体となるJR宇治駅のような橋上化は実現可能ではないか。

問 市が府に要望している連続立体化は、事業規模が大きく、事業主体が府であるなどハーフドルが高い。事業規模も小さく、市が事業主体となるJR宇治駅のような橋上化は実現可能ではないか。

都市整備部長 提案の内容も含め、駅のバリアフリ化を実現するために何ができるのか、十分検討していきたい。

市民環境部担当部長 素ステーションの整備費は、現在、約4億円から5億円程度かかると言われており、非常に高額である。また、整備に対する費用を開始するが、水素自動車にも対応したステーションの検討も必要と考える。見解は。

問 日刊新聞に水素で走る燃料電池車が市販されると報道があった。市は、1月から市役所庁舎北側駐車場に電気自動車の急速充電器1台を整備し、

市民環境部担当部長 のため、相当の経費負担がある。さらに、完成後は運営費も、年間4000万円程度かかるといつた試算もある。したが

市民環境部担当部長 る国庫補助率が2分の1のため、相当の経費負担がある。また、整備に対する費用を開始するが、水素自動車にも対応したステーションの検討も必要と考える。見解は。

秋月新治

水素自動車に対応したステーション整備が必要では

答弁～現時点では建設する考えはない

市民環境部担当部長 燃料電池自動車の普及状況などの推移を見守りたい。

問 具体的な開発計画が示された時に、市は、今後どのような姿勢で対応するのか。

都市整備部長 開発事業の計画が具体的に示された段階で必要な指導を行っていただきたい。一方、事業者は、既に二子山全体の約4万平方メートルの土地を所有しており、事業区域の拡大など景観への影響が懸念されることから、専門的な見地から助言を得るなど、市としてできることは何か十分検討していきたい。

市民環境部担当部長 の現状なども踏まえて検討し、地域の意向も踏まえ今後の方向性を市内関係課と鋭意協議を行う。

市民環境部担当部長 今後は、國の方針や地域の現状なども踏まえて検討し、地域の意向も踏まえ今後の方向性を市内関係課と鋭意協議を行う。

市民環境部担当部長 に農用地指定解除の方針を示したが、まとまらず、実施には至っていない。

市民環境部担当部長 に農用地指定解除の方針を示したが、まとまらず、実施には至っていない。

市民環境部担当部長 対して必要な協力をすることができる」とある。どのような支援・協力をしているのか、現状は。

市民環境部担当部長 犯罪のない明るい社会を築くため、社会を明るくする運動推進委員会で、小・中学生を対象に同運動に対する標語の募集や街頭啓発活動等に取り組んでいる。

市民環境部担当部長 保護司の確保は大変厳しくなっている。支援できないのか。

市民環境部担当部長 保護司候補者検討協議会に参画し、適任者の確保に努めている。また、保護司の活動について市民に一層の周知と理解を図っていきたい。

問 「子ども・子育て支援新制度」では、認可保育園以外は、園と保護者の直接契約になる。認定こども園への移行を表明して

認定こども園は保育料滞納で契約解除になるのか

答弁～保育を受けられなくなることがないように努め

坂本 優子
共産党議員団



問 体育振興会、子ども会、喜老会など地域の文化、コミュニケーションは小学校区単位である。これら団体との連携や意見調整をする役割を果たすため

小学校区単位の町内会連合組織づくりを

答弁～検討委員会での議論や提言を踏まえ検討する

西川 博司
民主党議員団



に、町内会、自治会の連合組織が必要であり、その組織エリアは小学校区であることが最適だ。市は小学校区単位での連合組織づくりに力を入れるべきだと考えるが、見解は。

市民環境部長 本市では、地域によってコミュニティの成り立ちや経過が異なり、小学校区の範囲と町内会、自治会の範囲も一致しているとは限らず、一律的な基準による仕組みづくりには課題も多い。

近鉄伊勢田駅バリアフリー化の考えは

答弁～エレベーターの設置を考える

問 市交通バリアフリー

答弁～エレベーターの設置を考えるが、駅の構造を考えるが、駅の構造を考へると、エレベーターの設置を基本とした整備になるのではないかと考える。

地域の団体間の連携のあり方やコミュニティ単位の考え方なども含め、現在検討委員会で議論をしている。その議論や今後予定されている提言を踏まえ、十分に検討していく

問 9月定例会で市長は、「近鉄小倉駅の地下通路は、このままでいいとは思っていない」、「今後、バリアフリー化全体構想の見直しの中で検討した

近鉄小倉駅地下通路のバリアフリー化は

答弁～中・長期的に駅周辺のまちづくりに取り組む

宮本 繁夫
共産党議員団



い」と答弁していた。なぜ交通バリアフリー検討委員会に示された見直し案（素案）では、重点整備地区にしなかったのか。

都市整備部長 駅構内はバリアフリー化が実施されている。地下通路は駅構外のため、バリアフリー法の枠組みでの対応が難しく、重点整備地区に入ることは困難である。

都 市 整 備 部 長 駅構内はバリアフリー化が実施され、地下通路は駅構外のため、バリアフリー法の枠組みでの対応が難しく、重点整備地区に入ることは困難である。



地域の団体間の連携のあり方やコミュニティ単位の考え方なども含め、現在検討委員会で議論をしている。その議論や今後予定されている提言を踏まえ、十分に検討していく

問 伊勢田駅を重点整備地区にしたのは補助金がつくからか。伊勢田駅と近鉄小倉駅の利用者数は。

都 市 整 備 部 長 JR奈良線の高速化・複線化第一期事業の中で、輸送力増強や市民の利便性向上を目的として整備した。地

都 市 整 備 部 長 JR奈良線の高速化・複線化第一期事業の中で、輸送力増強や市民の利便性向上を目的として整備した。地



地域の団体間の連携のあり方やコミュニティ単位の考え方なども含め、現在検討委員会で議論をしている。その議論や今後予定されている提言を踏まえ、十分に検討していく

問 「二子山の開発構想、規制を強化するべきでは

答弁～現在の規制で誘導する

水谷 修
共産党議員団



問 景観計画重点地区、重要な文化的景観地でもあるが、3000mの宅地開発構想が出されている。

答弁～26年下期は悪化傾向に向かうと予測

問 待機児童は11月1日で161人もいる。直接契約で保育料を滞納するも園への移行を検討している。

答弁～現状の規制で誘導する

答弁～既に事業者に当該地が景観の重要な地区であると伝え、文

問 市内経済、市民の暮らしの実情は

答弁～平成26年下期には悪化傾向に向かうと予測されてい

問 原材料高に対する市の対策は。



答弁～「子ども・子育て支援新制度」では、認可保育園制度における説明において、示されている。市に保育の実施義務があることから、滞納を理由に保育

答弁～「子ども・子育て支援新制度」では、認可保育園制度における説明において、示されている。市に保育の実施義務があることから、滞納を理由に保育

問 4月から施行される「子ども・子育て支援新制度」では、認可保育園制度における説明において、示されている。市に保育の実施義務があることから、滞納を理由に保育

問 健康福祉部長

人や幼保連携型認定こども園への移行を検討している。

答弁～何園があるのか。

問 健康福祉部長

人や幼保連携型認定こども園への移行を検討している。

答弁～何園があるのか。

問 景観計画重点地区、重要な文化的景観地でもあるが、3000mの宅地開発構想が出されている。

答弁～現在の規制で誘導する

答弁～既に事業者に当該地が景観の重要な地区であると伝え、文

問 市内経済、市民の暮らしの実情はどうなったのか。



答弁～現在の規制で誘導する

答弁～何園があるのか。



問 地方創生関連2法が成立した。国は、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、東京一極集中の歯止め、地域の特性に即した地域課題の解

人口減少問題、本市の特性を生かした施策とは

答弁～歴史・文化・資源を生かし市民の定住化を促す

政策経営部長 本市は人を引き付ける歴史資源、文化資源、自然资源など多岐にわたる魅力を有する。その特色を生かすため昨年度、市将来戦略プランを策定した。宇治に

新水道ビジョンへの基本的な認識は

答弁～新ビジョンによる水道の理想像を十分に考慮

水循環基本法に基づく水循環基本計画及び基

社会議員団
木村 正孝



決という3つの視点で魅力溢れる地方を創生するとしている。人口減少、少子高齢化を踏まえ、本市としての特性を生かした施策は。

問 人口減少により地方では、地域経済社会の維持に重大な局面を迎える。本市も2025年には18万人強と予想され、高齢化率が上昇し、就労人口

度の実施に向け、今後も総合的な少子化対策を積極的に推進する。

児童数の減少が起き

答弁～いじめを起こさない学級、学校づくりを進め

教育長 全ての学校で年間3回以上の校内調査を実施する他、定期的に教育相談を実施するなど、早期発見に努めている。

いじめ防止対策についての考えは

答弁～いじめを起こさない学級、学校づくりを進め

教育長 全ての学校で年間3回以上の校内調査を実施する他、定期的に教育相談を実施するなど、早期発見に努めている。

人口減少社会に向けた総合的な対策は

答弁～少子化対策を積極的に推進する

民主党議員団
石田 正博



が激減する。人口減少社会に向けた総合的な対策が必要だが、考えは、政策経営部長 市将来戦略プランに基づき、市の魅力を高め、住みたい、住み続けたいと思っても止めをかけたい。また、府が進める少子化対策総合戦略事業と連携を図り、子ども・子育て支援新制度の実施に向け、今後も総合的な少子化対策を積極的に推進する。

いじめ防止対策についての考えは

答弁～いじめを起こさない学級、学校づくりを進め

教育長 全ての学校で年間3回以上の校内調査を実施する他、定期的に教育相談を実施するなど、早期発見に努めている。

社会議員団
浅見 健二



太閤堤跡歴史公園を観光振興に加える考えは

答弁～宇治の歴史、文化を伝える施設となるよう検討している

無会派
片岡 英治



遊観光を推進することで周遊観光を推進するとともに、宇治茶に関するさまざまな体験を通じてその魅力を伝える施設となるよう検討している。

問 非常に利便性の高い所に歴史公園が造られるため、ガレージについて非常に否定的な考え方だったが、今も変わりはないのか。

都市整備部長 施設の設計、建設と維持管理、運営が一体的に実施されることで、民間のノウハウを生かす領域が広く、特にミュージアムやレストラン、物販などの運営に期待するところが大きい。

問 大久保青少年センターニーは、木造で耐震が非常に悪い。建て替えが必要だと思うが考えは。

教育長 今年度、耐震化の検査結果が出た。関係福社との連携等含め検討

教育長 設立趣旨が違ったことから、一概に比較しつづく。今日的な青少年センターのあり方を、福社との連携等含め検討

市民環境部担当部長 可燃ごみ収集体制は、燃業者は1日4回収集運搬を行っているが、それを3回に圧縮して残りをプラマークの収集に当て、可燃ごみ収集で新たに3

青少年センターのあり方を統一するべきでは

答弁～福祉との連携等含め検討する

する。必要な事業費の予算は、確保に向け頑張る。

市民環境部担当部長 今回プラマークとして新たに分離する資源物を収集するに当たり、必要な時間、機材等を検討した結果、現体制で収集し切れないと判断した。

ごみ収集はどのような体制で

答弁～新たに3台委託する

問 (仮称) 宇治川太閤堤跡歴史公園を観光振興に加える計画において、現在の市の考えは。

都市整備部長 宇治の豊富な歴史、文化をわかり

来訪を基本としつつ、一つ。まずは公共交通での対応することも重要である。まずは公共交通での対応することも重要である。

問 歴史公園をどのようにイメージでPRするの



3月定例会の日程

月日	曜日	会議日程等
2/13	金	議会運営委員会
2/19	木	請願提出締切/議会運営委員会
2/20	金	本会議開会(提案説明等)
		議会運営委員会
2/23	月	本会議(議案審議等) 予算特別委員会 委員長会議
2/26	木	本会議(一般質問)
2/27	金	本会議(一般質問)
3/2	月	本会議(一般質問)
3/3	火	議会運営委員会・本会議(一般質問/議案審議)
3/4	水	常任委員会
3/5	木	常任委員会
3/6	金	常任委員会
3/9	月	常任委員会
3/10	火	予算特別委員会
3/11	水	予算特別委員会
3/12	木	予算特別委員会
3/13	金	議会運営委員会 本会議(議案審議)
3/16	月	予算特別委員会
3/17	火	予算特別委員会
3/20	金	予算特別委員会(実地調査)
3/25	水	予算特別委員会(総括質疑)
3/27	金	議会運営委員会
3/30	月	本会議閉会(議案審議等)

公契約条例の制定に踏み出す考えは

答弁～全国、近隣の自治体の動向を把握し、研究する

渡辺俊二



総務部長 全国、近隣の自治体の動向を把握し、研究する。

問 民間労働者のうち、年収200万円以下のワーキングプアが110万人を超えた。自治体が発注する仕事現場でワーキングプアを生み出さない

総務部長 全国的には、経営にどう影響するのかなど、不明点や課題も多く、議論が分かれている。

問 公契約条例の制定に基づき、高齢者や障害者の移動の自由を保障する視点で歩道整備を進めることが必要だ。現在、市道の整備率は8・3%だ。このままいいのか。

建設部長 いざれの路線も歩きやすい歩行空間の整備を行ってきた。今後も引き続き地域の意見を聞き、さらに可能な安全対策を検討していく。

三室戸駅周辺の歩道整備計画はあるのか

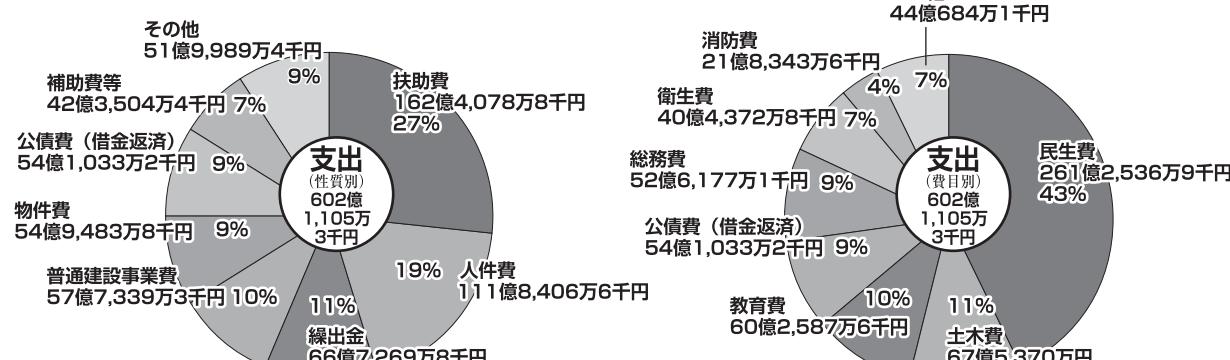
答弁～計画的な維持管理の検討を行う

建設部長 決して充分なものとは考えていない。安全で快適な道路整備に取り組む。

決算特別委員会審査報告

平成25年度 決算審査から

〈一般会計の内訳〉



※支出のグラフは費目別、性質別の2種類を掲載しています。



▶ 審査の様子



▶ 実地調査の様子

概要

総括質疑の後、討論が行われました。

自由民主党議員団委員の賛成討論、共産党議員団委員の反対討論は左記のとおりです。

平成25年度宇治市一般会計歳入歳出決算など、各会計決算の9議案は、平成26年9月定例会に提出されました。閉会中に決算特別委員会で審査され、12月定例会で9議案すべてを認定しました。(8面に議決結果掲載)

自由民主党議員団委員 反対
賛成

一般会計において市民の多様な行政需要や本市を取り巻く課題に対応し、また、新たな施策などにも積極的に取り組んだ。行政改革の推進、将来世代への多大な負担を残さない持続可能な行財政運営に努められることを期待し、賛成する。

共産党議員団委員

必要な経費を削減し、福祉を切り捨て、市民サービスを低下させてきたこと。子どもの教育や子育て支援について保護者や子どもたちの要望に応えていないこと。住みよいまちづくりを推進するものになっていないことなどから反対する。

討論

論

